



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月5日

上場会社名 ビジネスエンジニアリング株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4828 URL <https://www.b-en-g.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 羽田 雅一
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 経営統括本部長 (氏名) 別納 成明 (TEL) 03-3510-1600
 四半期報告書提出予定日 2020年11月10日 配当支払開始予定日 2020年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	8,983	3.4	1,249	32.2	1,255	32.0	831	40.0
2020年3月期第2四半期	8,684	21.2	945	79.5	951	82.6	594	76.4

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 1,107百万円(102.7%) 2020年3月期第2四半期 546百万円(55.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	140.85	—
2020年3月期第2四半期	101.24	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	9,445	6,021	63.7
2020年3月期	8,593	5,033	58.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 6,021百万円 2020年3月期 5,033百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	19.00	—	26.00	45.00
2021年3月期	—	22.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	23.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,000	△4.1	1,600	1.7	1,600	1.4	980	14.9	165.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	6,000,000株	2020年3月期	6,000,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	85,904株	2020年3月期	104,690株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	5,904,655株	2020年3月期2Q	5,867,891株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数については、従業員持株会信託の保有する当社株式を控除対象の自己株式に含めて算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。上記予想に関連する事項につきましては、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、国内外における新型コロナウイルス感染症の影響から引き続き厳しい状態にあり、企業収益は悪化しているものの、経済活動が再開するもとの景気は持ち直しています。

情報サービス産業におきましては、ITの戦略的活用に対する顧客ニーズは高いものの、企業収益が悪化するもとの、顧客の情報化投資意欲は不透明な状況にあります。

このような状況のもと、当社グループは、コンサルティングサービス、ソフトウェア製品、システム構築、運用・保守サービス、クラウドサービス等の提供を通じて、顧客のデジタル変革(DX)や経営課題解決に貢献する付加価値の高いソリューションの提供に努めました。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、受注高9,178百万円(前年同四半期比6.3%増)、売上高8,983百万円(前年同四半期比3.4%増)となりました。利益面につきましては、営業利益1,249百万円(前年同四半期比32.2%増)、経常利益1,255百万円(前年同四半期比32.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益831百万円(前年同四半期比40.0%増)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

①ソリューション事業

他社開発ERPパッケージ製品をベースとしたコンサルティング、システム構築につきましては、顧客の課題解決に貢献する複合型ソリューションの提供を推進し、顧客ニーズを踏まえた積極的な提案活動に努めました。当セグメントの受注高は6,747百万円(前年同四半期比21.0%増)、売上高は6,069百万円(前年同四半期比7.0%増)となりました。

②プロダクト事業

自社開発ERPパッケージ「mcframe」につきましては、引き続き、顧客・ビジネスパートナーとの関係強化を図り、ライセンス販売に注力するとともに、継続的なブランド力の強化に取り組みました。当セグメントの受注高は2,277百万円(前年同四半期比20.6%減)、売上高は2,736百万円(前年同四半期比1.7%減)となりました。ライセンス売上高は1,539百万円(前年同四半期比8.0%増)となりました。

③システムサポート事業

ビジネスシステムサービス株式会社が展開する運用・保守等のシステムサポート事業につきましては、引き続きシステムのライフサイクルサポートの充実に努めました。当セグメントの受注高は152百万円(前年同四半期比18.7%減)、売上高は176百万円(前年同四半期比21.6%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の分析

(資産の部)

流動資産につきましては、現金及び預金の増加、受取手形及び売掛金の増加、仕掛品の増加等により、前連結会計年度末と比較して549百万円増加し、6,717百万円となりました。なお、当第2四半期連結会計期間末の総資産に占める流動資産の比率は71.1%であります。

また、固定資産につきましては、投資有価証券の時価評価による投資その他の資産の増加、無形固定資産の取得が無形固定資産の減価償却額を上回ったこと等により、前連結会計年度末と比較して302百万円増加し、2,727百万円となりました。

これらの結果、資産の部の当第2四半期連結会計期間末残高は、前連結会計年度末と比較して852百万円増加し、9,445百万円となりました。

(負債の部)

負債の部の当第2四半期連結会計期間末残高は、前受金の増加、短期借入金の減少、賞与引当金の減少等により、前連結会計年度末と比較して135百万円減少し、3,424百万円となりました。

(純資産の部)

純資産の部の当第2四半期連結会計期間末残高は、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したことによる増加、その他有価証券評価差額金の増加、剰余金の配当による減少等により、前連結会計年度末と比較して988百万円増加し、6,021百万円となりました。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は、前連結会計年度末と比較して5.1ポイント増加し

63.7%となりました。

②キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して330百万円増加し、2,489百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益1,255百万円を計上し、減価償却費352百万円、前受金の増加218百万円等が、法人税等の支払額339百万円、売上債権の増加136百万円、たな卸資産の増加134百万円、賞与引当金の減少98百万円等を上回ったことにより、全体として933百万円の収入(前年同四半期872百万円収入減)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得及び無形固定資産の取得(自社開発ERPパッケージ「mcframe」の開発投資等)による支出等により、全体として376百万円の支出(前年同四半期22百万円支出増)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純増減額の減少、配当金の支払による支出等により、全体として227百万円の支出(前年同四半期157百万円支出減)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想は2020年5月14日公表の予想値より変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,159,577	2,489,768
受取手形及び売掛金	3,233,222	3,369,740
仕掛品	288,986	423,266
その他	486,744	435,198
流動資産合計	6,168,530	6,717,975
固定資産		
有形固定資産	142,626	136,311
無形固定資産		
ソフトウェア	1,225,005	1,262,578
その他	3,282	2,705
無形固定資産合計	1,228,288	1,265,284
投資その他の資産		
その他	1,059,592	1,331,821
貸倒引当金	△5,499	△5,499
投資その他の資産合計	1,054,092	1,326,321
固定資産合計	2,425,006	2,727,917
資産合計	8,593,537	9,445,892
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	550,956	507,435
短期借入金	100,000	—
1年内返済予定の長期借入金	7,910	—
未払法人税等	373,805	455,370
前受金	709,753	928,658
賞与引当金	679,520	581,193
役員賞与引当金	35,000	—
品質保証引当金	17,145	29,638
その他	1,086,225	922,035
流動負債合計	3,560,317	3,424,332
負債合計	3,560,317	3,424,332
純資産の部		
株主資本		
資本金	697,600	697,600
資本剰余金	448,901	448,901
利益剰余金	4,096,154	4,774,043
自己株式	△185,386	△151,192
株主資本合計	5,057,269	5,769,352
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△19,717	256,022
為替換算調整勘定	△4,332	△3,814
その他の包括利益累計額合計	△24,050	252,208
純資産合計	5,033,219	6,021,560
負債純資産合計	8,593,537	9,445,892

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	8,684,673	8,983,041
売上原価	5,934,076	6,017,504
売上総利益	2,750,597	2,965,537
販売費及び一般管理費	1,805,596	1,716,120
営業利益	945,000	1,249,416
営業外収益		
受取配当金	7,241	6,361
助成金収入	—	1,963
その他	318	739
営業外収益合計	7,560	9,065
営業外費用		
支払利息	1,284	1,587
為替差損	192	1,354
その他	17	405
営業外費用合計	1,494	3,347
経常利益	951,066	1,255,134
税金等調整前四半期純利益	951,066	1,255,134
法人税等	357,030	423,447
四半期純利益	594,036	831,687
親会社株主に帰属する四半期純利益	594,036	831,687

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
四半期純利益	594,036	831,687
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△46,050	275,739
為替換算調整勘定	△1,395	518
その他の包括利益合計	△47,445	276,258
四半期包括利益	546,590	1,107,945
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	546,590	1,107,945
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	951,066	1,255,134
減価償却費	447,951	352,523
賞与引当金の増減額(△は減少)	△52,795	△98,327
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△45,000	△35,000
品質保証引当金の増減額(△は減少)	△4,091	12,492
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△14,025	—
受取利息及び受取配当金	△7,415	△6,582
支払利息	1,284	1,587
為替差損益(△は益)	192	1,354
売上債権の増減額(△は増加)	840,012	△136,519
たな卸資産の増減額(△は増加)	259,957	△134,280
前渡金の増減額(△は増加)	△227	29,028
仕入債務の増減額(△は減少)	△110,864	△112,761
前受金の増減額(△は減少)	△97,528	218,494
その他	△31,168	△79,460
小計	2,137,348	1,267,683
利息及び配当金の受取額	7,417	5,812
利息の支払額	△1,249	△683
法人税等の支払額	△337,566	△339,114
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,805,949	933,698
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△17,512	△10,157
無形固定資産の取得による支出	△337,286	△364,044
その他	871	△2,575
投資活動によるキャッシュ・フロー	△353,927	△376,777
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△200,000	△100,000
長期借入金の返済による支出	△47,067	△7,910
自己株式の取得による支出	△55	△317
自己株式の処分による収入	39,076	34,511
配当金の支払額	△176,764	△153,531
財務活動によるキャッシュ・フロー	△384,811	△227,247
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,395	518
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,065,816	330,191
現金及び現金同等物の期首残高	1,261,244	2,159,577
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,327,060	2,489,768

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(従業員持株会信託型ESOP)

当社は、2018年3月より、中長期的な企業価値の向上と福利厚生を目的としたインセンティブ・プラン「従業員持株会信託型ESOP」を導入しております。

1. 取引の概要

従業員持株会信託は、信託の設定後約5年間にわたり「B-EN-G社員持株会」(以下、「持株会」という。)が取得すると合理的に見込まれる数の当社株式を市場から一括取得し、持株会が定期的に行う当社株式の取得に際して、当社株式を持株会に売却いたします。

2. 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度36,520千円及び20,000株、当第2四半期連結会計期間2,008千円及び1,100株であります。

3. 総額法の適用により計上された借入金の帳簿価額

前連結会計年度 7,910千円、当第2四半期連結会計期間末 一千円

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

当社グループは、新型コロナウイルス感染症の影響につきましては、当連結会計年度中は直接的な影響が続くと仮定して見積りを行っております。この仮定にもとづき、一部のプロジェクトについては、プロジェクト遂行環境の変化に伴い見積り原価の見直しを行っておりますが、当第2四半期連結会計期間末時点において重要な影響を及ぼすものではありません。